

プログラム名	
里山ふれあいプロジェクト 『木と森の話・ヒノキのこと』	
プログラムの概要・ねらい	
<p>まずヒノキという木を知る。そして木は人の暮らしにとって大切なものであることを示す。あたり前にあると気付かないが、失ってその大切さに気付くのが自然。私たちは森林活動から生まれる「ヒノキの輪切り」をツールとして、森のスピリットを年齢にあわせた目線で子供たちに伝える。文字通り木を切り口にして、山や自然に目を向ける意識を醸成するのがねらい。</p>	
プログラムの分野	
<input type="checkbox"/> 地球温暖化防止・エネルギー <input type="checkbox"/> ごみ・3R <input checked="" type="checkbox"/> 自然 <input type="checkbox"/> 生き物 <input type="checkbox"/> 大気 <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> その他	
プログラムの対象者	
<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園等(<input checked="" type="checkbox"/> 3歳児 <input checked="" type="checkbox"/> 4歳児 <input checked="" type="checkbox"/> 5歳児) <input checked="" type="checkbox"/> 小学校 1,2年 <input type="checkbox"/> 小学校 3,4年 <input type="checkbox"/> 小学校 5,6年 <input type="checkbox"/> 中学校 <input type="checkbox"/> 特別支援学校(<input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱)	
対象人数(1回に実施可能な人数)	
10～30人程度	
実施場所	所要時間
屋内施設 (適度な空間がとれるところ)	1時間程度【昼食時間に間に合わせます】
プログラムの実施に必要な準備物	
学校、園で準備が必要なもの	長机、マグネットボード、その他
団体に準備するもの	教材一式
プログラム実施に伴う安全上の注意事項、リスクの対処法 ※雨天時の対応など	
<p>安全上の注意事項は特にありません。 事前に打合せをさせていただきます。</p>	

【プログラムの進め方】

	学習内容・活動	写真
導入	<p>まず私たちが何をしに来たかのを紹介。「木や森の話みたい」と感じたところで、身の回りにある木の名前を発表してもらおう。そして、木や森に意識を向けてもらい、私たちが森の手入れをしていることを伝える。</p>	
	<p>まず木の成長ストーリーから、ヒノキの苗木を見せて木が大きくなる様子を子供たちにイメージしてもらおう。木が成長するために必要な要素を考えてさせて児童の発表を促す。様々な答えに講師側の気づきがある</p>	
展開	<p>木の成長とともに森は暗く日が入らなくなることを、身体を使って表現するなどし、人が植えた木は「間伐」という行為で木を伐って、太陽を入れることで木が成長する様子を伝える。</p>	
	<p>次はヒノキの輪切り。森林の手入れで発生した間伐材を輪切りに加工し教材で利用。子供に一枚ずつ渡し、年輪を数えて木の齢を知り生長を視認させる。輪切りを匂い、かたちをみて感じるものを連想発し発表する。また、小さな茶色の実「ヒノキポックリ」を配って、マツポックリなどと対比させて説明する。</p>	
確認	<p>ヒノッキンはヒノキの間伐材で作ったオリジナル楽器。講師がなじみのある楽曲を演奏し、児童がそれに合わせて合唱、また一人ひとりの気持ちで打音して発する音の意外性に気づかせる。未利用木材の一つの試みだ。</p> <p>今日はヒノキという木の話をしたこと。木は空気をつくり環境にても役だっていること。木を大きく育てるために木を伐ること。木は動くことができないから匂いなどで自分を守っていること。木にも年輪という齢があること。今日帰ったら家の人に木の話をしてあげてください。</p>	

【プログラムのアピールポイント】

子供たちに木や森の話をして、木や森がわたしたちの暮らしにとってかけがえのないものであることを伝えます。またヒノキの間伐材で作った楽器「ヒノッキン」を使って、講師の演奏で合唱したり、子供たちが自分でたたいて音を出します。

【授業を受けた先生の声】

ヒノキの輪切りや種に触れたり香りを感じたり、五感を使った体験ができてよかった。とても興味深い内容で、子どもたちも木と森をより身近に感じられた。子どもたちも真剣に話を聞いていて、新たな発見や知識も増え、良かったと思います。子供たちの知っている曲を演奏してくれるだけでなく、実際に叩かせてくれる貴重な体験ができ、楽しい時間でした。